

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【公表番号】特表2017-510634(P2017-510634A)

【公表日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-015

【出願番号】特願2017-500455(P2017-500455)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/225	(2006.01)
A 6 1 K	31/23	(2006.01)
A 6 1 K	31/231	(2006.01)
A 6 1 P	25/20	(2006.01)
A 6 1 K	31/404	(2006.01)
A 6 1 K	31/20	(2006.01)
A 6 1 K	31/121	(2006.01)
A 6 1 K	31/12	(2006.01)
A 6 1 K	31/045	(2006.01)
A 6 1 K	31/565	(2006.01)
A 6 1 K	31/16	(2006.01)
A 6 1 K	31/075	(2006.01)
A 6 1 K	31/11	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/50	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 0 1 K	67/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/225	
A 6 1 K	31/23	
A 6 1 K	31/231	
A 6 1 P	25/20	1 7 1
A 6 1 K	31/404	
A 6 1 K	31/20	
A 6 1 K	31/121	
A 6 1 K	31/12	
A 6 1 K	31/045	
A 6 1 K	31/565	
A 6 1 K	31/16	
A 6 1 K	31/075	
A 6 1 K	31/11	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/18	
A 6 1 K	47/06	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/50	

A 6 1 P 43/00 1 2 1
A 0 1 K 67/00 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月14日(2017.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラウリン酸メチル、ミリスチン酸メチル、パルミチン酸メチル、リノール酸メチル、ステアリン酸メチル、ピメリン酸ジメチル、アゼライン酸ジメチル、それらの塩、それらの誘導体、それらの異性体及び/又はそれらの構造類似体、或いはそれらの混合物を含む、ネコを含む預り所若しくは宿泊舎における又は複数のネコの家庭における社会的対立を減少させるための、或いはネコにおける社会的促進を誘導するための情報化学物質組成物。

【請求項2】

約1%～8% (w%/w%) のラウリン酸メチル、約1%～8% (w%/w%) のミリスチン酸メチル、約10%～18% (w%/w%) のパルミチン酸メチル、約3%～10% (w%/w%) のリノール酸メチル、約40%～55% (w%/w%) のオレイン酸メチル、約1%～8% (w%/w%) のステアリン酸メチル、約5%～15% (w%/w%) のピメリン酸ジメチル、約4%～15% (w%/w%) のアゼライン酸ジメチル、それらの塩、それらの誘導体、それらの異性体及び/又はそれらの構造類似体、或いはそれらの混合物を含む、請求項1に記載の情報化学物質組成物。

【請求項3】

約2%～6% (w%/w%) のラウリン酸メチル、約2%～6% (w%/w%) のミリスチン酸メチル、約11%～15% (w%/w%) のパルミチン酸メチル、約4%～8% (w%/w%) のリノール酸メチル、約42%～50% (w%/w%) のオレイン酸メチル、約2%～6% (w%/w%) のステアリン酸メチル、約7%～13% (w%/w%) のピメリン酸ジメチル、約6%～11% (w%/w%) のアゼライン酸ジメチル、それらの塩、それらの誘導体、それらの異性体及び/又はそれらの構造類似体、或いはそれらの混合物を含む、請求項1又は請求項2に記載の情報化学物質組成物。

【請求項4】

薬学的に許容し得る賦形剤若しくは獣医学的に許容し得る賦形剤又は増強組成物をさらに含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の情報化学物質組成物。

【請求項5】

脂肪酸類、アルコール類、アミン類、スクアレン、グリセロール及びそれらの混合物の群から選択される無毒の充填剤をさらに含む、請求項1～4のいずれか一項に記載の情報化学物質組成物。

【請求項6】

前記増強組成物が、インドール誘導体由來のアミン類及び脂肪酸類、これらのアミン類と脂肪酸類のエステル、ケトン類、アセトン、アルコール類又はステロール類である、請求項4に記載の情報化学物質組成物。

【請求項7】

前記誘導体が、ラウリン酸メチル、ミリスチン酸メチル、パルミチン酸メチル、リノール酸メチル、ステアリン酸メチル、ピメリン酸ジメチル、アゼライン酸ジメチル、それらの塩、それらの異性体及び/又はそれらの構造類似体のエステル、アルコール、ケトン、アミド、エーテル、アルデヒド又はステロール、或いはそれらの混合物である、請求項1～6のいずれか一項に記載の情報化学物質組成物。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の情報化学物質組成物及び溶媒を含む、溶液。

【請求項 9】

前記溶液が、スプレー、エアゾールの形態であるか、散布器で投与されるか、マイクロカプセル化されるか又は緩徐放出性のマトリックスである、請求項 8 に記載の溶液。

【請求項 10】

ネコを取り囲む環境中に、前記の請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の情報化学物質組成物又は請求項 8 若しくは請求項 9 に記載の溶液を放出することを含む、複数のネコの家庭における又はネコを含む預り所若しくは宿泊舎における社会的対立を減少させるための、或いはネコにおける社会的促進を誘導するための方法。

【請求項 11】

前記の複数のネコの家庭が少なくとも 2 匹のネコを有する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記情報化学物質組成物又は前記溶液が緩徐放出され、該放出が 3 ~ 5 週間起ころ、請求項 10 又は請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記環境が屋内環境又は閉鎖環境である、請求項 10 ~ 12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

ラウリン酸メチル、ミリスチン酸メチル、パルミチン酸メチル、リノール酸メチル、ステアリン酸メチル、ピメリン酸ジメチル、アゼライン酸ジメチル、それらの塩、それらの誘導体、それらの異性体及び/又はそれらの構造類似体、或いはそれらの混合物を含む、ネコを含む預り所若しくは宿泊舎における又は複数のネコの家庭における社会的対立を減少させる際に使用するための、或いはネコにおける社会的促進を誘導する際に使用するための情報化学物質組成物。

【請求項 15】

約 1 % ~ 8 % (w%/w%) のラウリン酸メチル、約 1 % ~ 8 % (w%/w%) のミリスチン酸メチル、約 10 % ~ 18 % (w%/w%) のパルミチン酸メチル、約 3 % ~ 10 % (w%/w%) のリノール酸メチル、約 40 % ~ 55 % (w%/w%) のオレイン酸メチル、約 1 % ~ 8 % (w%/w%) のステアリン酸メチル、約 5 % ~ 15 % (w%/w%) のピメリン酸ジメチル、約 4 % ~ 15 % (w%/w%) のアゼライン酸ジメチル、それらの塩、それらの誘導体、それらの異性体及び/又はそれらの構造類似体、或いはそれらの混合物を含む、ネコを含む預り所若しくは宿泊舎における又は複数のネコの家庭における社会的対立を減少させる際に使用するための、或いはネコにおける社会的促進を誘導する際に使用するための情報化学物質組成物。

【請求項 16】

約 2 % ~ 6 % (w%/w%) のラウリン酸メチル、約 2 % ~ 6 % (w%/w%) のミリスチン酸メチル、約 11 % ~ 15 % (w%/w%) のパルミチン酸メチル、約 4 % ~ 8 % (w%/w%) のリノール酸メチル、約 42 % ~ 50 % (w%/w%) のオレイン酸メチル、約 2 % ~ 6 % (w%/w%) のステアリン酸メチル、約 7 % ~ 13 % (w%/w%) のピメリン酸ジメチル、約 6 % ~ 11 % (w%/w%) のアゼライン酸ジメチル、それらの塩、それらの誘導体、それらの異性体及び/又はそれらの構造類似体、或いはそれらの混合物を含む、ネコを含む預り所若しくは宿泊舎における又は複数のネコの家庭における社会的対立を減少させる際に使用するための、或いはネコにおける社会的促進を誘導する際に使用するための情報化学物質組成物。